

2024 年度 藤枝学院高等専修学校
自己点検・評価項目および学校関係者評価報告書

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	生活スタイル、価値観の変化をどこまで学校として受け入れるかを常に考える必要が出ていると感じる。社会性と多様性のどちらも大事なのだが、相反することが多いので板挟みにならぬよう軸を持つことが必要。様々な事情から、改めて「躰」が求められ、必要になってくるのではないかと感じる。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4		時代と共に変化してゆく生徒の特性を生かす評価方法をこれからも精査していく必要がある。	4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	コロナ渦以降、発熱はないが「大事をとって休ませる」ということが顕著になってきた。	職業教育を行う専修学校として、実社会ではどのような対応なのかを見極めて維持するものと変化が必要なものに対応していく必要がある。	3	

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4	現在は教員一人ひとりのマンパワーに頼らざるを得ない状況に見える。今後のことを鑑みると、次に残していく伝えていく方策が急務ではないか。
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4			4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	数学で生徒のレベルに合わない教科書の選定がされていた。また各教員が作成した授業資料の共有化がされていない。	教科書は変更に向けて対応。サーバー内指定フォルダへの保管。教材のデジタル化も検討が必要。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4	
資格試験の合格率は	4	パソコン関連の資格は取得率の向上並びに上位級受験希望者が増加した。		4	
資格試験不合格者の対策は	3	放課後に研修会を設けているものの、自らの意志で学習する生徒を育成していくことが肝要。	継続的な指導よりも短期集中の指導方法が向いている生徒もいるため、短期集中による研修を充実させる。	3	
評価は適切な方法で行われているか	3	連携校の観点別評価算出が過度に煩雑な作業となっていたが負担軽減のためのプログラムを作成したため解消した。評価方法が短いスパンで変わり、また複雑なので対応が必要。	職員の業務負担軽減のためのプログラムを作成、実装。	3	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3	目標に到達していない生徒に対し、個々に対応するようにしているが、教員がついていないと学習できない生徒がいる。	自学自習できる生徒と教員がついての指導が必要な生徒とそれぞれに適切な対応をしていく。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4	

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	中学校での進路活動は早期化が顕著になっている。通信制高校の影響が大きく、2年生からの問い合わせに対応していく必要がある。少子化に伴い、公立私立問わず定員割れをする中で通信制高校が増加し更に入学者も増えている。	スポットで中学校の先生方に早い段階から情報を提供する。また生徒保護者主体になっている進路活動に対応することが急務。	3	個人の価値観や考えが強くなっている中、公立高校からも通信制へ流れるという状況が起こっている。公立をはじめとした高等学校の枠組みではない教育も求められている。カリキュラムは画一的な従来のものだけではなく硬軟のバランスを考える必要が出始めている。
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4			4	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	4	※学校見学は随時受付		4	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3	通信制高校の試験早期化、定員割れする高等学校の不合格者減少に伴い、中学校との関係を維持しつつも対策が必要。	従来の特別選考試験、一次選考試験の名称も含めやり方や比重を検討。	3	
志願者状況、定員充足率はどうか	2	通信制高校による早期結果発表、公立高校との併願者の増加及び公立高校が定員を超過し合格を出すなどの影響は決して少なくない。また、支援を要する生徒の入学相談が増加傾向にある。	志願者数を増やすためには、まず在校生が生き生きと活動し、学校に対する満足度を上げる必要がある。即ちそれは口コミによる広報活動の拡充につながる。見学者数を増やすためには、中学校の先生方に対し、専修学校の教育について理解を深めてもらえるように定期的、継続的な募集活動を行う。	2	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4			4	

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	3	設置基準は満たしているが、産休に入る教員がいる為、次年度の運営方法の検討が必要。	2年生3年生は学年担任制を導入予定。	3	引き続き教員募集に力を入れるが、新卒だけではなく、転職希望者にも目を向けたらどうか。 教育職に対するマイナスイメージが公然と報道される中、貴校の勤務実態と乖離しているのだがひとくくりにされてしまっているのでは上手に伝える方策が必要。若い教員へのケアも必要である。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	制度上の問題はないものの、教員一人当たりの担当科目・時間数が多く負担が多い。	時間講師の人員増、担当時間数増を図る。	3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	3	担当科目時間数が多く、また個別に指導が必要な生徒が増加傾向にある中、行事の準備対応が大きな負担となっている。	教員の人数が減少する中、行事の数が少しずつ増えているため、行事運営の方法、行事数を適正に検討する必要がある。	3	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3	指導は多くのことが教員の経験値に委ねることが増えてきているが必ずしもその経験が現代にマッチしていない部分がある。	改めて現在の高校生を取り巻く環境を認識すると共に理解と教員の意識を変えていく必要がある。	3	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	担当時間数が過大になっている。教員は意欲的なのだが多岐にわたる授業担当や行事の増加、授業以外の校務が多く物理的な作業時間が不足している。	非常勤講師の雇用と業務のスマート化を図る。	3	

5. 施設・設備等

評 価 項 目	評 価	現状の問題点	評 価	評 価	関係者の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	物価が上がる中、簡単に使い捨てるのではなく長く使えるよう維持管理を進めていくのが良い。
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	4	今年度、パソコンの入れ替えを行ったため問題はない。		4	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4	図書室を設置、解放したが、時間的な制約があるので利用方法については今後の課題である。		4	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4			4	
事務室の管理は適切に行われているか	4			4	

6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3	友人関係や家庭環境による生活の不安定さから居場所に困る生徒への対応。	今後も更なる工夫と早めの相談体制が必要。	3	最近の社会情勢から不審者に対する対応を考えておいたほうがよい。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	特になし
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の状況について報告します。